



あすなる

ASUNARO-INSTITUTION

あすなるFDセンター



【住 所】〒043-0112 北海道爾志郡乙部町字栄野99-2
 【TEL】0139-62-3460
 【FAX】0139-62-3461



社会福祉法人 江差福社会 運営施設一覧

【施設入所支援・生活介護事業所】

あすなる学園

【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなるアクティビティセンター

従たる事業所【生活介護事業所】

繁次郎

【就労継続支援B型】

あすなるパン

【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなるケータリングセンター

【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなる新地センター

【生活介護事業所】

あすなる地域交流センター

【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなる日明センター

【障害者相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業所】

あすなる相談支援センター

(江差町・乙部町・厚沢部町・奥尻町指定委託事業)

【就労継続支援A型事業所】

バリアフリーホテルあすなる

【就労継続支援A型事業所】

あすなるFDセンター

【知的障がい者グループホーム】

はまなす荘	第3ケアホーム伏木戸
はらだハイツ	第2ケアホーム南ヶ丘
メゾンドフェミニン	ケアホーム円山
番重ホーム	ケアホーム茂尻山
尾山第2寮	ケアホーム尾山
南ヶ丘女子寮	ケアホームたざわ
第2南ヶ丘女子寮	ケアホーム砂川
尾山第3寮	ケアホームじんや
尾山第4寮	ケアホーム伏木戸
松林ホーム	ケアホームおま
村田ホーム	ケアホーム南ヶ丘
みんなの家	第1ケアホーム本町
第2ケアホーム伏木戸	第2ケアホーム本町
	第2ケアホーム尾山

【認知症対応型共同生活介護施設】

シルバーハウスケープ赤石
 シルバーハウス第2ケープ赤石

自らの生き方にビジョンを描ける生活を



援護会長 中 村 彰

そろそろ秋の気配を感じる季節を迎えました。

関係機関・各位並びに援護会の皆様には日頃当福祉法人の運営に温かいご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、社会福祉法人江差福祉会は、この4月に新しく入所される皆さんを迎え、現在入所・通所の利用者を合わせて363名、職員160名の大所帯となりました。障害をもつ人達に社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられると共に、年齢及び心身の状況に応じ、地域に於いて必要な福祉サービスを総合的に提供されるよう援助する事を目的として活動しております。現在江差福祉会は、生活介護、就労継続支援A型とB型事業所が9事業所の他、障害者相談支援事業、高齢者グループホーム事業、共同生活援助事業と地域福祉のニーズを総合的に担っております。

中でも、去年オープンした『バリアフリーホテルあすなろ』は、道内初の完全バリアフリーホテルであり、就労支援事業でホテルを運営している事業所の中でも全国で4ヶ所目です。全館が徹底したバリアフリーに加え温泉の設備を余す所なく活かした施設で、おもてなしの心と笑顔を心がけ新幹線開業と合わせ全国からお客様にご利用頂いております。また、全国的に人気の高い災害備蓄「缶入りパン・フリーズドライビスケット」など30種類に加え、FDセンターでは「備え餅」（フリーズドライした道産うるち米）を開発し、特に東日本大震災に続いて熊本地震後には、防災意識の高まりから大手企業・官公庁からの需要が伸び製造部門は大変な忙しさであります。このように障害を持つ人達が自らの生き方にビジョンを描ける生活を保障することが何よりも大切な事だと感じております。

また、福利厚生面におきましても恒例の大運動会・外食会・音楽鑑賞をはじめとして、去年度は秋に東北旅行、年が明けて1月にハワイ旅行、来る8月末にはまたハワイ旅行、さらには今秋に新幹線で関西への旅行を計画しており、これら社会見学の際に大いに見聞を広げ社会性を育んでおります。

このように江差福祉会は、障害のある皆さんの生活の質向上を目指し利用者・職員と相互理解を深め仕事に取り組んでおられる皆さんに声援を送ると共に、それを支える職員や地域の皆さんに敬意と感謝を申し上げます。

結びになりますが、当福祉法人の益々の発展と関係機関・各位並びに援護会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。



あすなるFDセンター 紹介



あすなるFDセンターは、平成27年4月1日に就労継続支援A型事業所として、定員20名で開設されました。

バリアフリーホテルと同様、開設から1年を迎え現在の取り組み状況を紹介させていただきます。

あすなるFDセンターでは災害備蓄シリーズである「アルミ袋入りエコパン」と「フリーズドライご飯」のエコ

ロジー化、新製品の「備え餅」と多様な災害備蓄食品を専門的に製造しています。

新製品の「備え餅」は、うるち米を霧流粉碎（きりゅうふんさい）するという特許製法で作られています。

この備え餅ですが、災害時に水と混ぜるだけで好みの硬さにしてあんこやごま餅が食べられるという事で注目されています。好みの硬さというのは、老人や障がいにより嚥下が困難な方も食事が出来るのが最大のメリットです。又、わずか1分で作る事が出来る事も評判を得ています。他にも、大豆や小麦のようにアレルギーを持っている方が少ない事も災害時の利便性の一つと言えます。

FDセンターは大幅に機械化を図る事で製造ラインの確立と量産体制を実現する事が出来ました。

ここで作業にあたる利用者さんは各々で担当が決まっており、責任を持って日々作業にあたっています。



真空凍結乾燥機（フリーズドライ）

フリーズドライとは、水分を含んだ食品や食品原料をマイナス40℃で急速に凍結し、さらに減圧して真空で水分を昇華させて乾燥させます。

それにより、常温での長期保存が可能となり、風味、栄養素を落とさずに作りたての状態を再現することが出来るだけでなく、軽量、コンパクトなので持ち運びに適しています。

災害時の非常食として需要が高まっています。



今年導入したFD機



グループホーム紹介



第2ケアホーム尾山

今年も、新規利用者の受け入れが25名ありました。

法人全体で地域生活する利用者さんの数は、合計で276名となり、グループホームの数も27棟となっています。

今年開設されたグループホームは第2ケアホーム尾山。定員10名の男子寮です。

場所は繁次郎温泉の近くに位置し、空間を大切にした造りになっており男子寮といえども圧迫感がなく開放的な仕上がりになりました。



ダイニング 1階と2階にあります。



浴室です。

2016年(平成28年)5月14日(土曜日)

【江差】社会福祉法人江差福祉会(樋口英俊理事長)の事業所で働く障害者が年々増加している。七つの事業所で働く知的障害者は4月時点で計280人と、5年前よりも約100人増えた。事業拡大に伴い、食品製造やホテル接客など仕事内容が多様化しているのに加え、賃金が高く、働く人たちの意欲を高めている。(後藤真)

江差福祉会7事業所 障害者就労5年で100人増

「ワートラスシステム」の導入により、作業効率も高まり、障害者も安心して働けるようになった。今年度は、事業拡大に伴い、食品製造やホテル接客など仕事内容が多様化しているのに加え、賃金が高く、働く人たちの意欲を高めている。(後藤真)

仕事多様 意欲高く 賃金水準確保

「ワートラスシステム」の導入により、作業効率も高まり、障害者も安心して働けるようになった。今年度は、事業拡大に伴い、食品製造やホテル接客など仕事内容が多様化しているのに加え、賃金が高く、働く人たちの意欲を高めている。(後藤真)

樋口理事長は、売り上げも増え、事業拡大に伴い、賃金水準も確保している。今年度は、事業拡大に伴い、食品製造やホテル接客など仕事内容が多様化しているのに加え、賃金が高く、働く人たちの意欲を高めている。(後藤真)

「ワートラスシステム」の導入により、作業効率も高まり、障害者も安心して働けるようになった。今年度は、事業拡大に伴い、食品製造やホテル接客など仕事内容が多様化しているのに加え、賃金が高く、働く人たちの意欲を高めている。(後藤真)



トイレです。



居室です。

行事紹介

・ 1/ 6 ~ 1/11	ハワイ旅行	42名
・ 3/13 ~ 3/15	札幌旅行	100名
・ 3/30 ~ 4/ 1	札幌旅行	100名
・ 5/ 4	法人利用者GW残留者行事	200名
・ 6/19	法人大運動会	389名
・ 6/19	法人大運動会打ち上げ	360名
・ 6/24	チャリティープロレスin上ノ国	130名
・ 6/25	チャリティープロレスinあすなろ学園	216名
・ 7/ 2	かもめ島祭り花火大会	139名
・ 7/ 3	かもめ島祭り	31名



2016.1.6 ~ 1.11
ハワイ旅行



2016.6.19
法人大運動会打ち上げ



2016.6.24
チャリティープロレスin上ノ国



2016.6.19
法人大運動会

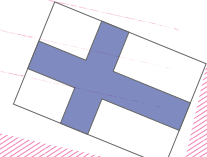


2016.6.25
チャリティープロレスinあすなろ学園



姉妹提携して
いるカーリシルタが創立
30周年を記念して江差福祉会とコ
ラボTシャツを製作しました。現在
カーリシルタで働いている由利隆昌
さんが中心になって実現しました。
カーリシルタからは、ミンナブラ
ネンさんの絵画、江差福祉会からは、
坂本等さんの絵画が選ばれました。

写真左は坂本等さん
写真右は正津政俊さん



2016.7.2
かもめ島まつり花火大会

全国就労支援セミナー

第8回 障がい者就労支援施設の『食・物ネットワーク実践研修会』が開催されました。

今回の研修会は平成28年7月19日(火)～平成28年7月21日(木)の日程で江差福祉会を会場に開催されました。

14都道府県30法人41事業所の63名参加となり、3日間の研修は大いに盛り上がりました。

この活動目的は、①製造技術の普及と向上②共通の市場の構築③情報の共有④内需の拡大⑤交流を通じて、就労支援の充実と利用者の作業工賃の向上を目指す。となっています。

研修では、講演の他、実践報告、プレゼン大会、交流会と2泊3日の日程は、時間に追われる部分もありましたが、就労支援における現況と課題について意見交換されました。

江差福祉会では、樋口理事長による「日本一の工賃支給を実現した江差福祉会の実践」の講演の他、各施設見学、去年オープンした就労継続支援A型事業所「バリアフリーホテルあすなろ」での宿泊と当法人を余す所なく披露するかたちとなりました。

実行委員会の皆様、大変お疲れ様でした。

尚、商品見本市・物産展による実践販売研修会★第5回大会は★福岡★が会場と決定しています。

日時：平成28年11月18日(金)・19日(土)

場所：アクロス福岡・天神中央公園



樋口理事長講演



衆議院議員 阿部 俊子 議員



乙部町長



檜山振興局長



樋口理事長講演



空知の風常務理事 橋 正樹氏



東京リハビリ協会 理事 斎藤 公生氏



バリアフリーホテルにて交流会



プレゼン大会



各施設の製品



交流会



各施設の食材などを活用した食事会

江差福祉会よりお知らせ

製造から5年長期保存可能。
てづくりを楽しめる非常食。



災害備蓄用
備え餅
ごま塩 あん

● 米粉の風味、ソフトな食感をお楽しみ下さい。

付属の米粉と水を練り合わせることでソフト餅ができあがります。米粉の香りが香ばしく、食欲を掻き立てます。弾力があって食べごたえも充分！そのままでも食べられますが、あんとかごま塩で味を変えてもお召し上がりいただけます。



● できあがるまでの過程も楽しめる新感覚非常食。

1パックに2食入りで、調理に必要なものはすべてセットされています。こちらのセットで完結しますので、実習時に大変します。

セット内容



お餅の作り方



① 米粉(40g)2包を水の入ったトレー2箇所にそれぞれ入れます(100mlずつ)。② 残りの水(20ml)はカップに入れておきます。
③ トレーから餅がこぼれないように手でおさえ、付属のスプーンで乾きが出るまでよくかき混ぜれば、お餅の完成です。

トッピングの作り方



① お餅の作り方①で残しておいた水(20ml)を入れたカップにあんの粉(20g)を入れます。
② 熱がなくなるまでよくかき混ぜると、あんこが出来上がります。
③ ごま塩はお餅にそのままかけてお召し上がり下さい。(お好みでかける量を調整して下さい)

編集後記

今年も折り返しを過ぎ学園だよりの作成をしながら振り返ると、2016年の江差福祉会は1月のハワイ旅行から始まり新規グループホームの開設、新規利用者の受け入れ、行事に健康診断とあつという間に8月を迎えたように思います。何かと日々を追われる中での一コマを載せたいと思います。先日、町内を車で走っているとグループホームの敷地でバドミントンを仲良く楽しむ一組のカップルを見かけました。海沿いでは釣り竿を片手に釣りを楽しむグループ。自転車でパークゴルフに出掛けるグループ。本来の地域生活の意味がそこにありました。皆さん笑顔に溢れていました。職員としては怪我や事故に遭わないかと心配も多かつい小言がでてしまいますが、反面、心が温まる瞬間でもありました。地域との共生が経験となり豊かな暮らしへと繋がっていく。心が痛む事件も多い昨今ですが、利用者さんの笑顔が多くみられるよう日々を大切にしていきたいものです。

あすなる学園 木村(大)・岩田・野崎



お便り「あすなろ」第47号

発行人 社会福祉法人江差福祉会 あすなる学園
住所 〒043-0023 北海道檜山郡江差町字田沢町542-3
電話 0139-52-5577
FAX 0139-52-3187
HP www.asu-inst.server-shared.com/